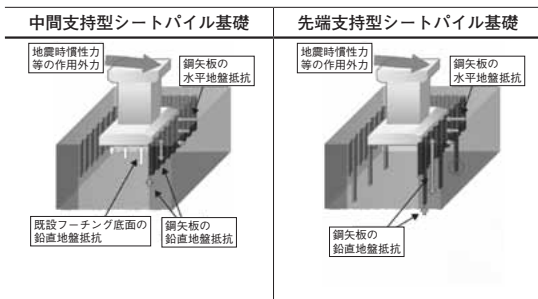


シートパイル基礎工法

構造物基礎のフーチング周囲に鋼矢板（シートパイル）を配置し結合することで、耐震性・支持力性能を向上させる工法です。公益財団法人鉄道総合技術研究所、株式会社大林組と共同で開発しました。

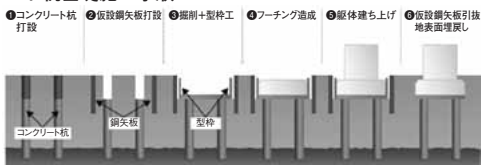
特長

1. 基礎新設の場合
仮設土留め用鋼矢板との兼用が可能で、経済的かつ短工期。
2. 既設基礎補強の場合
増し杭等の従来工法よりも経済的。
杭打ち機等の大型機械が不要で、狭隘地での施工が可能。
既設構造への影響が少なく、供用中の施工が可能。
排土が少なく、環境負荷軽減にも貢献。

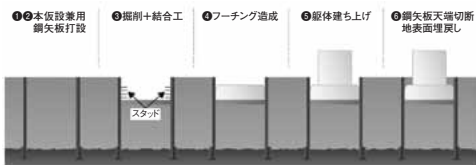


施工手順

コンクリート杭基礎施工手順



シートパイル基礎を用いた基礎構造施工手順



ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。